# 各地で入隊・入校予定者を激励

## 神奈川
### 神奈川自衛隊音楽まつり、横浜武道館で開催
### 入隊予定者を激励し、音楽演奏で盛り上がる

神奈川地方協力本部は2月11日、横浜武道館アリーナで開催された「第46回神奈川自衛隊音楽まつり」を支援しました。

この催しは、県自衛隊家族会、県防衛協会、県隊友会、神奈川地本募集相談員会の4団体で構成される神奈川地方協力本部支援団体協議会が主催しました。

音楽まつりは2部構成で行われ、今春に入隊・入校を予定している方々とそのご家族のほか、募集対象の方や関係者など約1300人が参加しました。

第1部では、国歌斉唱の後、来賓からの祝辞が述べられ、入隊・入校予定者の紹介が行われました。その中で、海上自衛隊の一般幹部候補生として入校する平野裕介さんが代表として謝辞を述べました。

平野さんは、出身地の石川県に帰省中に能登半島地震で被災したため、昨年度の入校を見送りましたが、今年の入校が決まりました。被災を経験する中で、多くの方々に支えられていることを実感し、「誰かの役に立ちたい」という気持ちがより強くなったそうです。そして「人の痛みが分かり、皆さんから信頼される自衛官を目指し、日々努力していきたい」と力強く決意を語りました。

迫力ある横浜湊和太鼓の演奏

第2部では、陸上自衛隊横浜駐屯地太鼓部による迫力ある「横浜湊和太鼓」の演奏と格闘演舞で幕を開けました。続いて、東海大学付属相模高等学校中等部吹奏楽部が元気いっぱいの演奏を披露し、横浜市消防音楽隊は軽快な演奏と華やかなステージドリルで会場を盛り上げました。

最後に登場した海上自衛隊横須賀音楽隊は、「Stand Alone」の美しい歌声や「陸空海マーチ・メドレー」の力強い演奏で、観客を魅了しました。フィナーレでは、出演者全員がステージに上がり、観客とともに「Believe」を合唱しました。会場は温かい一体感に包まれ、音楽まつりは感動的な締めくくりとなりました。

## 福井
### 入隊・入校予定者の激励会を開催
### 多くの激励の言葉とエールに包まれ、新たな一歩へ

福井地方協力本部は3月2日、県自衛隊協力会連合会（会長・福井県副知事）が主催する「令和6年度福井県入隊・入校予定者激励会」を支援しました。

この激励会は毎年開かれており、県選出の国会議員や県知事、県・市議会議員、高等学校の先生方、協力団体、近隣の部隊の方々など、多くの方が出席し、入隊・入校予定者やそのご家族を含む約100人を励ましました。

JETSと入隊予定のメンバー

当日は、国会議員や県議会議長、近隣部隊の代表の方から温かい激励の言葉をいただき、続いて中谷防衛大臣からのビデオメッセージが上映されました。

また、入隊・入校予定者の紹介では、一人一人が「頑張ります！」と力強く決意を表明し、これに県出身の先輩自衛官が「一緒に頑張ろう！」とエールを送りました。

さらに、代表として航空自衛隊の一般幹部候補生として入隊する久野（ひさの）拓哉さんが、皆さんへの感謝とともに、これからの決意を語りました。

激励会の最後には、県立福井商業高等学校チアリーダー部「JETS」の皆さんが演技を披露し、入隊・入校予定者を元気付けてくれました。今年はJETSのメンバーの中に入隊予定者がいたこともあり、いつにも増して笑顔あふれる演技となり、会場全体が温かい雰囲気に包まれました。

この激励会を通じて、多くの方々の応援の気持ちが届けられ、入隊・入校予定者にとって励みとなるひとときとなりました。

## 京都
### 防衛協会主催　自衛隊入隊・入校激励会を支援
### 入隊・入校予定者と家族が門出を祝う

京都地方協力本部は3月1日、総合生涯学習施設ガレリアかめおかで「京都府防衛協会主催　令和6年度自衛隊入隊入校激励会」を支援しました。

祝辞を述べる本田防衛副大臣

この激励会は、入隊・入校予定者やそのご家族、関係者が一堂に会し、新たな門出を祝うとともに、不安を和らげる機会として開催されました。

当日は、入隊・入校予定者74人、ご家族68人、来賓47人が参加し、温かい雰囲気の中で実施されました。

式典では、本田防衛副大臣をはじめに、吉川京都府副知事、自衛隊代表として伊藤舞鶴地方総監が祝辞を述べ、中谷防衛大臣からのビデオメッセージも届けられました。

さらに、陸上自衛隊の一般幹部候補生として入隊予定の自衛官候補生、陸自・空自の片岡さん・中田さんが代表として決意を表明しました。

山元さんは「国を守るという責任感と決意を強く持ち、有事の際には力を発揮できるよう、日々の勉学や技術の研鑽に励み、同じ志を持つ同期の仲間たちと共に助け合い、自衛官としての本分に努めることを誓う」と、力強い言葉で抱負を述べました。

また、式典の最後には、激励の記念品が、陸上自衛隊高等工科学校入校予定者の代表として入隊する久野（ひさの）拓哉さんが、皆さんへの感謝とともに、これからの決意を語りました。

激励会の最後には、県立福井商業高等学校チアリーダー部「JETS」の皆さんが演技を披露し、入隊・入校予定者を元気付けてくれました。今年はJETSのメンバーの中に入隊予定者がいたこともあり、いつにも増して笑顔あふれる演技となり、会場全体が温かい雰囲気に包まれました。

この激励会を通じて、多くの方々の応援の気持ちが届けられ、入隊・入校予定者にとって励みとなるひとときとなりました。

## 秋田
### 入隊・入校予定者激励会が盛大に開催
### 約300人が集まり、未来の自衛官を応援

秋田地方協力本部は2月26日、あきた芸術劇場ミルハスで開催された「入隊・入校予定者激励会」を支援しました。

答辞を述べる荒谷さん

このイベントは秋田県自衛隊家族会と秋田県の共催で行われ、約300人が参加しました。会場には、入隊・入校予定者の家族をはじめ、佐竹秋田県知事、市町村長、県内高等学校の校長らが集まり、これから自衛隊員としての第一歩を踏み出す若者たちを激励しました。第1部では、入隊・入校予定者が一人ずつ紹介され、続いて国歌が吹奏されました。

北林県自衛隊家族会長は激励のあいさつで「厳しい訓練を通じて皆さんの成長を期待しています」と述べ、会場を温かな雰囲気に包みました。続く祝辞では、佐竹知事や来賓が激励の言葉を送り、中谷防衛大臣からのビデオメッセージも上映され、参加者は真剣に耳を傾けました。その後、県内6つの家族会協議会長から入隊・入校予定者に激励品が贈呈されました。

特に印象的だったのは、秋田県出身の陸・海・空自衛隊の先輩隊員が、直接激励の言葉を送った場面です。先輩隊員の言葉に感銘を受ける若者の姿も見られました。続いて、陸上自衛隊幹部候補生学校に入校予定の荒谷大和さんが代表として「訓練を通じて一人前の自衛官として国民の期待に応えられるよう努めます」と力強く決意を述べると、会場は大きな拍手に包まれました。第2部では、航空自衛隊第33警戒隊（加茂分屯基地）による「なまはげ太鼓演舞」が披露され、会場の雰囲気が一気に盛り上がりました。地域の伝統文化と自衛隊の誇りが融合した演出は、入隊・入校予定者をはじめ、参加者全員に強い印象を残しました。

最後は、行進曲に合わせて入隊・入校予定者が送り出され、式典は感動的な雰囲気の中で締めくくられました。

## 群馬
### 予備自衛官補への挑戦と家族の成長
### 群馬地方協力本部　予備自衛官補　並木　枝里子

挑戦する並木予備自衛官補とご家族

令和6年、私たち夫婦は予備自衛官補の試験に合格したことでした。息子と共に自衛隊について学び、理解を深めたいという思いから、夫婦でこの制度に挑戦することを決めました。

また、仕事を続けながら自衛隊に関わる方法があると知り、看護職の資格を生かして協力できる点にも魅力を感じました。

令和6年1月の能登半島地震では、自衛隊員の方々が救助や支援活動に尽力する姿をテレビやSNSで目にしました。

多様な支援活動を通じて人々を支える姿に深く感銘を受け、避難所での笑顔や感謝の言葉が心に残っています。人々の安全と日常を守る自衛隊の重要性を改めて実感しました。

一方、息子は高等工科学校への入学後、寮生活に適応するため、生活リズムの変化や家事の自立など、多くの課題に直面しました。親元を離れ、クラスメイトと協力しながら学校生活を送る中で、大変なことも多かったと思います。それでも、帰省のたびに心身ともに成長した姿を見て、努力の成果を実感し、親として誇らしく思っています。私自身も息子の姿に刺激を受け、より一層精進していきたいと考えています。

年齢を重ねても、新たな挑戦には大きな刺激があり、自己の学びや視野を広げる機会になると感じています。予備自衛官補となったことで自信を持つことができ、これまで培ってきた経験や知識を生かしながら、自衛隊の活動に少しでも貢献できるよう努めていきます。

## 大阪
### 技能公募予備自衛官が招集訓練で通訳支援
### 在日米陸軍予備役筆長の視察対応で語学力向上の機会に

大阪地方協力本部は1月19日と20日の両日、陸上自衛隊千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）および久代射場（兵庫県川西市）において、在日米陸軍司令部予備役筆長のハギンス大佐による予備自衛官の招集訓練視察や懇親会があればぜひ参加したいです」と感想を述べ、通訳支援を調整した大阪地本援護課員も「今回の経験を通じて多くの学びがありました」と語るなど、それぞれが充実した時間を過ごすことができました。

予備自との懇談での通訳支援（左端）

の訪問の機会を生かし、予備自衛官の訓練の中で通訳を担当することで、語学力の向上にもつなげることを目的としたものです。

今回の通訳支援には、大阪地本所属の技能公募予備自衛官の橋本武寛予備2等陸曹が担当しました。

訓練視察の際、久代射場では予備自衛官の小火器射撃訓練の見学が行われ、その後、今回の5日間の訓練に参加している予備自衛官との懇談の時間が設けられました。

ハギンス大佐からは「なぜ予備自衛官になったのですか？」「苦労したことはありますか？」といった質問があり、橋本予備2曹は、予備自衛官の返答を通訳しながら、日米の予備役制度に関する意見交換を円滑に進める役割を果たしました。

また、第3師団長への表敬訪問時には師団長の通訳を務め、第3師団司令部幕僚長への表彰状贈呈時には幕僚長の通訳を担当しました。

橋本予備2曹は「とても貴重な経験でした。また機会があればぜひ参加したいです」と感想を述べ、通訳支援を調整した大阪地本援護課員も「今回の経験を通じて多くの学びがありました」と語るなど、それぞれが充実した時間を過ごすことができました。

## 鳥取
### 「ふれあいコンサート」舞鶴音楽隊が感動を届ける
### 雪の中、約1300人が自衛隊の音楽を楽しむ

鳥取地方協力本部は2月22日、とりぎん文化会館梨花ホール（鳥取市）で、海上自衛隊舞鶴音楽隊（隊長・渡邉大海1等海尉）による「ふれあいコンサートin鳥取」を開催しました。事前に地本のWebサイトや地元メディアで広報を行ったこともあり、一般入場者席は満席となり、自衛隊音楽隊の高い人気がうかがえました。

来場者と音楽隊員との交流

当日は10年に一度といわれる厳しい寒波に見舞われ、雪が降りしきる中での開催となりましたが、この日を心待ちにしていた市民や募集対象者など約1300人が来場し、悪天候にもかかわらず舞鶴音楽隊の華やかな演奏を楽しみました。

演奏では、クラシックの名曲から軽快なJポップまで、幅広いジャンルの11曲が披露され、来場者は時折手拍子をしながら聴き入っていました。

アンコールでは、広く親しまれている「軍艦マーチ」が演奏され、観客が自衛艦旗を振って盛り上げる場面もありました。

また、舞鶴音楽隊長の特別な計らいで、演奏中にステージ上の隊員の写真や動画を撮影できる時間が設けられ、来場者はスマートフォンなどで思い思いに撮影していました。

最後に、舞鶴音楽隊長が観客に向けて「今この瞬間にもさまざまな場所で国を守る自衛隊の仲間たちに思いを寄せ、ぜひ応援してください」と呼びかけると、会場からは大きな拍手が沸き起こり、コンサートは感動のうちに幕を閉じました。

来場者からは「期待どおり素晴らしかった」「隊長のメッセージを聞き、自衛官のことを思うと涙が出た」といった声が聞かれました。

ロビーでは学生グループなどが音楽隊員と記念写真を撮影する姿も見られ、来場者の自衛隊への親しみが一層深まった様子でした。

## 長野
### 部隊見学で入隊予定者の不安解消
### 自衛隊の魅力を体験し、志望意欲を高める

長野地方協力本部は2月27日、陸上自衛隊松本駐屯地にて、入隊を予定している方や自衛隊を検討している9人の参加者を対象に部隊見学を行いました。

有線電話の体験

この見学は、入隊予定者の不安を和らげるとともに、参加者が自衛隊への志望意欲を高められるように企画され、松本駐屯地の協力のもと実施されました。

見学の始めは、松本駐屯地や新隊員教育隊についての全般的な説明が行われました。自衛隊の任務や組織についても触れ、新隊員教育の目的や内容についても紹介されました。

特に、教育は一人前の社会人として成長することを重視し、それぞれの適性や目標に合わせた訓練が行われていることが強調されました。参加者は真剣に話に耳を傾け、積極的に学ぼうとする姿勢が見受けられました。

その後、隊舎や医務室、浴場など、実際の生活に欠かせない施設を見学し、午前のプログラムを終了しました。

昼食を挟んで、午後からは体験型の職種説明が行われました。

会計科、普通科、武器科、施設科、通信科、衛生科の6つの職種について、仕事内容や装備品が紹介され、実際に触れたり操作を体験する場が設けられました。

特に、普段触れることのない装備品や救急法の実習、ロープワークの体験は参加者の関心を引き、みなさん熱心に取り組んでいました。

最後には、昨年度入隊した隊員を含む、数年間の勤務経験を持つ若手隊員との懇談が行われました。

参加者は隊員たちから直接、仕事の内容や自衛隊での生活についての話を聞くことができ、次第に質問も増えて、懇談は活発に行われました。

見学後、参加者からは「入隊前に自衛隊についてたくさんのことを知ることができて良かった」「実際に体験して、自衛隊のイメージが変わった」といった感想が寄せられ、非常に有意義な時間となったことがうかがえました。

## 大阪
### 自衛隊を知ろう！　3Days仕事体験
### 大学生が自衛隊の多様な業務を学び体験

大阪地方協力本部募集課は、2月26日から28日の3日間、「自衛隊を知ろう！3Days仕事体験」と題して、大学生を対象とした自衛隊体験イベントを実施しました。

戦闘服で記念撮影

今回のイベントは、陸上自衛隊伊丹駐屯地および大久保駐屯地、海上自衛隊舞鶴基地の協力を得て、大学生23人が参加しました。

参加者は、自衛隊のさまざまな職種や業務を実際に体験し、学びました。

初日は、大阪地本が入る大阪合同庁舎にてオリエンテーションを行った後、伊丹駐屯地（兵庫県伊丹市）へ移動しました。そこで、中部方面音楽隊の演奏練習を見学し、その後は中部方面会計隊で実際の会計業務の一部を体験しました。

さらに、第36普通科連隊の激励による基本教練体験やコンパス行進を行い、実際の自衛隊活動に触れることができました。

2日目は、大久保駐屯地（京都府宇治市）にて戦闘服に着替え、格闘指導官による護身術体験が行われました。

さらに、戦闘糧食を実際に喫食し、また第4施設団ではCAD（コンピュータ支援設計）操作などの業務を体験し、さまざまな自衛隊の職種について深い理解を得ることができました。

最終日は、海上自衛隊舞鶴基地（京都府舞鶴市）で舞鶴地方総監・伊藤海将の講話を聴いた後、艦艇の見学や「海自カレー」の体験喫食が行われました。

また、一般大学出身の若手幹部との懇談も行われ、海上自衛隊の任務や活動についての理解を深めることができました。

3日間の体験を通じて、参加者は自衛隊の多様な業務や実践的な活動を学び、貴重な体験を積むことができました。

参加者からは「音楽隊の練習は本番さながらの迫力で、涙が出るほどうれしかった」「コンパス行進がとても難しく、自衛官の凄さを実感した」「自衛隊にはこんなにたくさんの職種があるとは知らなかった」といった肯定的な意見が寄せられました。

こうした声を通して、募集課員にとっても新たな学びとなり、今後の募集活動に向けて手応えを感じることができました。

## 静岡
### 防災教育で自衛隊への理解を深める
### 静岡女子高等学校で災害対応体験

静岡地方協力本部は3月12日、陸上自衛隊第34普通科連隊（御殿場市）とともに、静岡女子高等学校（静岡市）で防災教育を実施しました。

この教育は、同校商業科の1・2年生合わせて60人を対象に、防災意識を高め、自衛隊の活動への理解を深めてもらうことを目的として行われました。

最初に、静岡地本静岡募集案内所の広報官が自衛隊の概要について説明しました。その後、同案内所長の成清陸太1等陸尉が動画を交えながら、災害の実状や備えることの重要性について語りました。

動画では東日本大震災や能登半島地震の当時の緊迫した状況や被災者の声が伝えられ、生徒たちは真剣な表情で視聴しました。

また、学校のある静岡市での台風被害にも関心を示し、身近な災害についても理解を深めていました。

講話後、生徒たちは学年ごとに分かれ、陸上自衛隊車両の見学と担架を使った救急法体験を行いました。

車両見学では、軽装甲機動車と高機動車を囲んで生徒たちが興味津々に座席に座ったり「軽装甲機動車の窓がなぜ台形なのか」と隊員に質問を投げかけたりして自衛隊への理解を深めました。

また、救急法体験では、衛生小隊の隊員が担架や毛布を使った負傷者の搬送方法を紹介しました。最初は毛布の耐久性や生徒だけでの搬送に不安を感じていましたが、実際に男性数人や自衛隊の男性隊員を搬送する体験を通じて、毛布で安定した搬送ができることに「いざという時は先生を助けてあげられる」と自信を持つようになりました。

この体験を通じて自衛隊の活動に対する理解がより深まりました。

負傷者の搬送を体験


## ひとりで悩まずご相談下さい！

自衛隊家族会は
★決して会員をひとりにはしません！
★いつもそばにおります！
★解決に向けてみんなで汗をかきます！

**まずは、近くの家族会会員へ。**
**そして、お気軽に「問い合わせ窓口」へ。**

1　「問い合わせ窓口」への問い合わせ先・要領

自衛隊家族会事務局（担当）　髙橋　隆志(たかはし　たかし)
◇電　話：03−5227−2468　（平日 09:00〜16:00）
◇メール：jkazokukai@jkazokukai.or.jp　（常時、ただし返信は平日）

「総括相談員」　鍛治　雅和(かじ　まさかず)
◇番　号：080−4630−8987　（平日 09:00〜16:00）

○ 問い合わせ者は、まず「氏名(匿名可)」「所属家族会(部隊等)」など述べた後に、必要な「問い合わせ」を実施して下さい。不在時には「相談員」から電話しますので、事前に「非通知設定」の解除をお願いします。
○ ご不明な点は、髙橋までご連絡下さい。

2　問い合わせ　「相談員」

| 役職・氏名 | 担当内容 |
|---|---|
| 家族会運営委員(陸自OB)<br>手塚　信一(てづか　しんいち) | ◇家族(隊員)に関する問い合わせ<br>(主に陸上自衛隊) |
| 家族会理事(海自OB)<br>鍛治　雅和 | ◇家族(隊員)に関する問い合わせ<br>(主に海上自衛隊) |
| 家族会理事(空自OB)<br>荒木　淳一(あらき　じゅんいち) | ◇家族(隊員)に関する問い合わせ<br>(主に航空自衛隊) |
| 家族会副会長(陸自OB)<br>宮下　寿広(みやした　としひろ) | ◇家族会全般に関する問い合わせ |
| 家族会事務局員　髙橋　隆志 | ◇家族会の管理に関する問い合わせ |

相談無料！　個人情報・秘密厳守！　問題解決実績多数！